

『平成18年度施策実施状況調書』

施策名	(施策59) 情報通信に関する標準化の推進			担当部局名	情報通信政策局 通信規格課	
施策の概要	我が国の情報通信技術分野における研究開発成果の普及による国際競争力の確保、ひいては豊かな国民生活の実現や国際貢献を図るため、情報通信に関する標準化を積極的に推進している。当該施策の進捗管理を行う指標として、上位政策と同様、指標「ITU、IETF等における標準提案の件数」を設定するとともに、国際共同研究開発等を推進する活動の成果を表すため、「国際的な連携に係る会合の開催」の回数を指標として導入している。					
主な指標の状況	主な指標等	目標値	目標年度	15年度	16年度	17年度
	ITU、IETF等における標準提案の件数(情報通信分野における標準の形成状況)	20件程度	17年度	31件	71件	36件
	国際的な連携に係る会合の開催	1回以上	17年度	2回	4回	3回
施策の主な実施手段の状況	予算執行を主とするもの	事業名	概要	15年度	16年度	17年度
		国際競争力の確保	重要な技術分野の標準化の取組の強化 「情報通信分野における標準化活動の強化」	9.3百万円	107.9百万円	90.3百万円
		アジア発次世代技術の確立	国際的な連携の強化 「国際的次世代情報通信網共同研究の推進」「開発途上国における電気通信の標準化に関する調査研究」	37.6百万円	37.6百万円	35.5百万円
		暗号技術の標準化等の推進	暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 「情報通信ネットワークのセキュリティ評価等に関する調査研究」	178百万円	34百万円	37百万円
		戦略的情報通信研究開発推進制度(国際技術獲得型研究開発)	国際標準化活動への貢献(研究開発成果の国際標準化提案等)を条件として、国際標準の獲得に必要不可欠な研究開発課題を公募。(戦略的情報通信研究開発推進制度の再掲)	245.9百万円	337.4百万円	227.4百万円
制度の企画・運用を主とするもの	項目	概要				
	—	—				
情報提供等を主とするもの、その他	項目	概要				
	総務省HPへの掲載	調査研究の報告書等を国民にわかりやすくPRするため、総務省のHPへ掲載。				
<p>(業務改善への取組状況)</p> <p>○ 重要な技術分野の標準化の取組の強化 情報通信分野における戦略的な国際標準化活動推進のための政策として、ITUやIETF等における国際標準提案の促進を図るとともに、海外の国際標準化活動の動向調査及び標準化活動に携わる人材の育成に取り組んでいる。</p> <p>○ 国際的な連携の強化 情報交換、国際共同研究等を実施しているAIC会合に参加、情報通信分野の標準化の協力を推進するためにASTAP会合に参加するなど、目標達成に向けて成果が上がっている。</p> <p>○ 暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 「暗号技術検討会」を開催して平成15年2月に電子政府推奨暗号リストを公表したのち、引き続き電子政府推奨暗号の監視、電子政府推奨暗号の安全性及び信頼性確保のための調査、研究及び暗号モジュールの評価基準等の検討等を実施するなど、目標の達成に向けて成果が上がっている。</p> <p>○ 戦略的情報通信研究開発推進制度(国際技術獲得型研究開発) 全国で説明会を実施するとともに、国内研究機関・研究者にも積極的に本制度の紹介を行うことで、同制度の認知度を向上させ、国際標準化活動の活性化に取り組んでいる。</p>						

『平成18年度施策実施状況調書』

本施策に関する 課題等の状況	<p>○ 情報通信分野における標準化活動の強化 (課題) 我が国が将来にわたり国際競争力を確保するため、日本からの国際標準提案の促進、標準化活動に携わる若手人材の育成など、情報通信分野における標準化活動に対し、戦略的に取り組んでいくことが必要である。また、諸課題に対応するため、所要の体制整備等を検討する。</p>	予	制	事
	<p>○ 国際的な連携の強化 (課題) アジア・太平洋地域の重要性は増してきており、今後とも積極的に活動を推進し、関係諸国との連携を強化するなど、国際技術の標準化を支援していくことが必要である。また、諸課題に対応するため、所要の体制整備等を検討する。</p>	予	制	事
	<p>○ 暗号技術検討会の開催による暗号技術の評価及び標準化等 (課題) 情報通信技術が進展するとともに暗号に対する攻撃も日々高度化していくこと、また、「各府省の情報システム調達における暗号の利用方針(平成15年2月28日行政情報システム関係課長連絡会議了承)」において、総務省は、「電子政府推奨暗号リスト」に掲載された暗号の安全性及び信頼性について、必要に応じ評価を行う監視活動等を行う旨が定められていることから、当該政策について継続的に推進していくことが必要である。</p>	予	制	事
	<p>○ 戦略的情報通信研究開発推進制度(国際技術獲得型研究開発) (課題) 国内より広く提案を募り、我が国にとって有益な技術の国際標準化を支援することで、我が国の国際競争力の強化が見込めることから、当該政策について継続的な取組みが必要である。</p>	予	制	事
本施策に関する 専門家の意見等	<p>○ 情報通信分野における標準の形成状況 「情報通信審議会情報通信技術分科会ITU-T部会審議状況報告(平成18年3月27日)」、「情報通信審議会情報通信技術分科会ITU-R部会審議状況報告(平成18年2月27日)」、「暗号技術検討会(平成17年10月12日、平成18年3月30日)報告書」及び「戦略的情報通信研究開発推進制度における外部評価結果により作成した資料」を標準の形成状況の把握に活用した。</p> <p>○ 国際的な連携に係る会合の開催状況 「AIC第32回ハロンバイ(ベトナム)会合(平成17年5月)資料」及び「AIC第33回ジャカルタ(インドネシア)会合(平成17年11月)資料」並びに「第10回ASTAP総会(平成17年10月)ASTAP推進連絡会資料」を会合の開催状況の把握に活用した。</p>			
本施策に関する 主な資料	<p>○ 情報通信審議会情報通信技術分科会ITU-T部会及びITU-R部会資料</p> <p>○ 暗号技術検討会により作成した報告書 http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/policyreports/chousa/ango/index.html</p> <p>○ 戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)に関するホームページ http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/scope</p> <p>○ 戦略的情報通信研究開発推進制度における外部評価結果により作成した資料</p> <p>○ AIC日本委員会資料</p> <p>○ ASTAP推進連絡会資料</p>			